

読書週間がはじまります



(今年の読書週間のポスター)

第73回読書週間は、10月27日(日)から11月9日(土)で、今年の標語は、「おかえり、葉の場所で待ってるよ」です。

読書週間は、終戦間もない昭和22年「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・書店と公共図書館、新聞や放送のマスコミ機関も加わって、第1回読書週間が開催されました。当初の期間は、11月17日から11月23日までの1週間でしたが、翌年から10月27日~11月9日(文化の日を中心にした2週間)になり、やがてこの運動は全国に広がっていきました。

福岡市では、平成29年2月に「福岡市子ども読書活動推進計画(第3次)」を策定し、家庭・地域・学校・図書館を中心に、関係機関や団体と連携しながら、創意ある取組を推進しています。生涯学習課では、読書推進活動の一つとして新入生に先生方から推薦された図書を「新1年生へのおすすめ本リスト」*にして配布しています。

今年度に中学校へ配布した「新1年生へのおすすめ本リスト」に記載した本を紹介しますので、読書週間に図書館などで配架してみてもはいかがでしょうか。

教科	書名	著者	出版社
国語	獣の奏者(1)	上橋 菜穂子	講談社青い鳥文庫
社会	昔話法廷	NHKEテレ「昔話法廷」制作班 今井 雅子(原作)	金の星社
数学	科学者と中国古典名言集	藤嶋 昭, 守屋 洋(共著)	朝日学生新聞社
理科	ざんねんないきもの事典	今泉 忠明(監修)	高橋書店
音楽	科学キャラクター図鑑 音楽 音を楽しむ!	ダン・グリーン	玉川大学出版部
美術	電車をデザインする仕事	水戸岡 鋭治	日本能率協会マネジメントセンター
保健体育	不可能を可能にする大谷翔平120の思考	大谷 翔平	ぴあ
技術	「あかつき」 一番星のなぞに生まれ!	山下 美樹	文溪堂
家庭	食べたら種まき	ヒナ	祥伝社
英語	星の王子さま The Little Prince	サン・テグジュペリ	講談社英語文庫

(2019年度中学校配布 「新1年生へのおすすめ本リスト」)

小学校や中学校の先生方から推薦された図書を紹介することで、新入生たちが学校での学習に興味を持ち、読書する本の幅を広げることにより、学ぶ力の向上と豊かな心の育成に資することを目的に、毎年、小学校、中学校に「新1年生へのおすすめ本リスト」を配布しています。このおすすめ本リストを作成するために、小・中学校の各教科の研究委員会や研究会に本を推薦していただいています。小・中学校に配布した「新1年生へのおすすめ本リスト」は、教育委員会ホームページ(生涯学習→子どもの読者活動の推進→おすすめ絵本・本の紹介)に掲載しています。

読書週間の取組



読書週間では、子どもたちの読書量を増やすとともに、物語や小説だけでなく、詩や伝記など読書の幅が他の分野にも広がるような取組をしてみるのもよいと思います。また、市の総合図書館で開催された読書リーダー養成講座を受講した子どもたちに対しては、ぜひ、講座で学んだ読み聞かせやPOPの作成ができるような取組をお願いします。



今年度、新たに紹介する取組

① 図書館マスコットキャラクター募集

図書館のマスコットキャラクターを募集して、1年間図書館のマスコットにします。

応募用紙を図書館に置いたり、学級に配布したりしてマスコットキャラクターを募集します。集まったキャラクターを廊下に掲示して、みんなに投票してもらい、一番人気のあったキャラクターを、図書館便りや集会などで紹介し、図書館等に掲示したりします。

② 辞書引き大会

同じ版の国語辞典を人数分そろえておき、スタートの合図とともに、決めた時間内に、どれだけ解答できるかを競う大会です。問題には、濁音、拗音、促音、カタカナなど、いろいろな言葉が入るようにします。時間内に全問書き終わった場合には、解答の欄に、かかった時間を記入します。優勝者の名前を放送したり掲示してはどうでしょうか。

解答用紙の例

解答用紙		分	秒	正解数	／10
番号	問題	ページ		上・中・下	
1	登場人物	6	67	上	
2	ビロード	7	95	下	
3	くうどう	2	49	下	
4	しっけ	4	02	中	


全問解答するのにかかった時間を書く

設定された時間内で、正解した数を書く

問題の数を書く

問題の言葉がのっているページの段を書く。
上・・・上段、中・・・中段、下・・・下段

問題がのっているページを書く



③ しおり（葉）づくり

事前にリボンなどをつけたしおりの体裁を作っておき、来館者に自分の好きな絵を描かせ、オリジナルのしおりを作らせます。低学年用には、絵の枠線だけを描いておき、色を塗るだけでしおりができるようにしてもいいでしょう。

④ 読書マラソン

期間を決め、その間に読んだ本について、低学年は冊数、3年生以上はページ数を用紙に記入します。

読書期間中は、学年ごとに目標を設定し、読書週間が終わったら、目標達成者を掲示板などでお知らせします。

☆ 読書量を増やすことにつながりやすい取組



① 読みたい本コンクール

子どもたちが好きそうな本を選んで並べて置き、一番好きな本を選んで投票してもらいます。一番になった本に投票してくれた子どもには、しおりなどのプレゼントを渡したり、一番になった本を放送で紹介し、展示したりします。

② 読書ゆうびん

今まで読んだ本で心に残った本や紹介したい本を、はがきより少し大きめの厚紙に書名や簡単な感想などを書いて校内に設置する郵便ポスト（生活科などで使ったポスト）に投函します。投函されたはがきは掲示板に掲示します。

③ スタンプカードの活用

専用のスタンプカードを準備します。貸出図書の返却の際、本一冊につきスタンプ一個を押します。スタンプの個数に応じてしおりなどのプレゼントをもらえたり、借りられる本の冊数を増やしたりするなどの特典を与えます。集会などで表彰するのもよいでしょう。



④ 読書クイズ

A5 ぐらいの紙に「本」にまつわるクイズを記入し、封筒に入れます。子どもたちに封筒を選ばせ、中に入っているクイズの答えを図書館の本で探して見つけます。

(クイズの例)

- ・ 物語の一節（子どもたちが親しんでいるもの）を記し、書名を答えてもらう。
「てがみを もらって、がまくんは とても よろこびました。」の一節は、「おてがみ」という話の最後の一節です。「ふたりは ともだち」という本には、「はるがきた」など5つの話があり、その中に「おてがみ」があります。
- ・ 登場人物の名前を記し、その人物がでてくる書名を答えてもらう。
- ・ 人気のある作家だが、子どもたちにはあまり知られていない作品の一節を記し、作家名を答えてもらう。
- ・ 子どもが知っている本を記し、主人公が飼っている動物の名前を答えてもらう。

他にも、物語の内容に関する質問などいろいろ作れるのではないのでしょうか。さらに、スタンプカードを準備して、正解者にはカードにスタンプを押印すると、クイズを解く楽しさが増すだろうと思います。

⑤ 先生方によるおすすめ本の紹介

先生方が子どもたちにすすめたい本を学校図書館で選び、所定のカードにおすすめのポイントを書きます（POPの感覚で）。そのカードを該当の本の表紙に添付し、図書館内に設けた特設コーナーに展示します。

※カードに先生の似顔絵や顔写真をそえると、子どもたちは一段とおすすめの本に興味を持つと思います。



⑥ 先生方によるブックトークや読み聞かせ

先生方が各自のお気に入りの本について、本にまつわる思い出を話したり、読み聞かせをしたりします。

※どの先生が、どの部屋で、何の本を読むのか、レストランのように事前に読み聞かせのメニュー表を配布したり、学級に掲示したりすると、楽しみが増すと思います。

☆ 読書の幅を広げることに繋がりやすい取組

① 本のおみくじ

本の紹介が簡単に書かれたくじを来館した人に引いてもらい、引いた本を借りて読むようにします。低学年用と高学年用と分けておみくじを作っておけば、なおいいと思います。

② 給食時間中の放送の活用例（その1）・・CDを活用した名作紹介の時間

著名な俳優が名作を朗読したCDが、福岡市総合図書館にあります。CDは、金子みすゞの詩や宮沢賢治の作品などいろいろあります。こうした音源を活用し、給食時間の放送で流します。



③ 給食時間中の放送の活用例（その2）・・おすすめ本の紹介

図書委員や放送委員がおすすめの本を紹介します。

※おすすめ本の原稿については、図書委員や先生だけでなく、保護者や地域の方などに依頼してはどうでしょうか。

④ ビンゴカード

学年に応じたビンゴカードを1人1枚配布します。このビンゴカードには、国語の教科書に紹介されている本や読んで欲しい本、☆印を付けた学校司書のおすすめ本を載せ、読んだ本の欄に色を塗ります。それ以外の本を読んだ場合は、空欄に書名を書きます。ビンゴゲームのように、縦・横

(例) ビンゴカード

わたしと小鳥と すずと	手塚治虫	☆精霊の守り人
ひとしずくの水 (写真絵本)		草野心平詩集 蛙のうた
杉原千畝物語	☆西風号の遭難	フェアブル 昆虫記1

・斜めに1列そろったら図書館に持ってきて、図書委員からしおりなどをもらいます。日頃子どもたちが手にすることの少ない詩、伝記などをビンゴカードに載せることで子どもたちが本を知り、読書の幅を広げることにつながると思います。

☆ そのほかの取組

① ブックトーク・ビブリオバトル*

小学校の高学年や中学校・高校では、昼休みや放課後に大会を行ってみるのはどうでしょうか。また、取組の様子や結果を図書館だよりなどで紹介してもよいでしょう。

※出場者がそれぞれ推薦する一冊を持ち寄り、その本のよさを5分程度で紹介し、その後、参加者がどの本が読みたくなったかを多数決で決める書評イベントです。知的書評合戦ともいわれます。京都大学の研究室から始まったといわれています。



② POPコンクール

全校の児童・生徒に呼びかけ、POPカードを募集します。集まったPOPを展示して投票を行い、優秀作を決定します。POPの内容によって、キャッチコピー賞やイラスト賞などの賞を工夫することもできます。

③ 英語の本の読み聞かせ

外国語指導助手（ALT）にお願いして、読み聞かせをしてもらったらどうでしょうか。「はらぺこあおむし」「ぐりとぐら」「はれときどきぶた」などの本は、英語版も出版されています。

④ 展示会の実施

POPカードを書き、カードと本と一緒に図書館前廊下に展示したり、ぬり絵やしおりを書いたりして展示します。

⑤ 福岡県出身の作家コーナーの設置

福岡県出身の作家が生まれた地域に作家名を書き入れた福岡県地図と一緒に作品を集めたコーナーをつくります。コーナーには、白石一文氏、乙一氏、畑正憲氏、古処誠二氏などの本を表紙が見えるように配架してはどうでしょうか。



11月生まれの文学者



たかし よいち (本名 高士 与市) と「竜のいる島」

熊本県熊本市 1928年11月10日生まれ 2018年没

日本でほとんどただ一人、子どものための考古学読み物を書ける作家として知られているたかし氏は、小学校4年の時に「シベリアの氷づけのマンモス」という雑誌記事を読んで以来、ひそかにマンモスへの夢を持ち続けており、1954年北海道の襟裳でマンモスの臼歯が発見されたことで、マンモスへの夢が再び強くよみがえったそうです。

東洋語学専門学校(現在の熊本学園大学)卒業後、25歳の時、A・T・ホワイト女史の「埋もれた世界」を読んで大きな衝撃と感動をうけ、ホワイト女史に手紙を送ると、子どものためのノンフィクション文学の重要性を説いた返事もらったことで、その後のたかし氏の生き方が定まったそうです。

「竜のいる島」は、古代首長竜をめぐる冒険ファンタジーで産経児童出版文化賞大賞を受賞し、国際アンデルセン賞優良作品にも選出された作品です。

たかし氏は椋鳩十氏に師事し、椋氏の後任として鹿児島女子短大教授になった後、久留米信愛女学院短大教授や同学院図書館長を務めました。作品は、考古学や古生物学に基づくノンフィクション作品を数多く手掛け、児童文学に新たな分野を開拓し、故郷の九州を舞台にした創作民話を多数発表し、「しらぬい」「がわっぱ：かっぱものがたり」、「埋もれた日本」(日本児童文学者協会賞)や「天狗」(赤い鳥文学賞)などがあります。



中村 航 (なかむら こう) と「トリガール」

岐阜県大垣市 1969年11月23日生まれ

中村氏は、小学校1・2年の時に図書館に行く習慣が身についてから卒業まで、毎週図書館で限度冊数の本を借りていましたが、中学ではサッカーに熱中し、高校ではバンドを組んだり、映画や演劇をしたりして読書から外れていました。

芝浦工業大学工学部入学後も、バンドを続け読書をあまりせず雑誌を読むくらいでした。

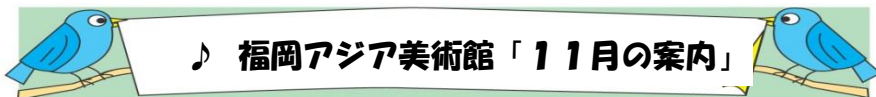
卒業後はメーカーに就職し、長野県の岡谷で真剣にエンジニアの仕事をしながら、バンド活動もこれまでと同じように続けていましたが、いつ仕事を辞めてもいいと思っていたそうです。

小説を書き始めたきっかけは、バンドをやめて何かやろうかと思った時に友人から小説を書くように勧められ、これくらいの枚数をどのくらいの日数で書けるか、自分を試すつもりで初めて書いた作品が、自分では面白いものが書けたと思ったからでした。そこで、本格的に書こうと考え、村上春樹氏などの現代作家を読み始め、図書館にまた行くようになったそうです。

1999年、29歳の時にお金も貯まり、読書体験は薄いですが小説を書くのにちょうどいい年齢でいい頃合いだろうと思い仕事を辞めました。そして、書くことを中心に生活していた31歳の時に「リレキシヨ」(文藝賞)で作家デビューしました。

「トリガール」は、「鳥人間コンテスト選手権大会」に出場する作家の母校である芝浦工業大学をモデルにした人力飛行機チームの奮闘を描く青春物語で、映画化もされました。

中村氏の作品は、「夏休み」、「ぐるぐるまわるすべり台」(野間文芸新人賞)などがあります。

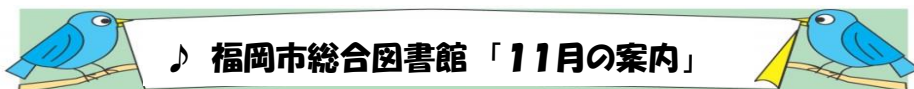




***アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ**

10日(日), 12日(火), 24日(日), 26日(火)

- ・時間 11:30 ~ 12:00, 13:00 ~ 13:30
- ・場所 7階「キッズコーナー」(申し込み不要)



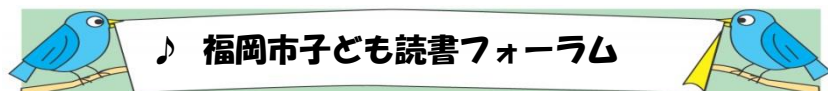


***毎月のおはなし会**

2日(土), 3日(日), 9日(土), 10日(日), 16日(土)
17日(日), 23日(土), 24日(日), 30日(土)

- ・時間 土曜日: 2日, 9日, 16日, 23日
 - 14:10 ~ 14:25 赤ちゃん向けおはなし会
 - 14:30 ~ 14:50 幼児向けおはなし会
- 30日
 - 14:30 ~ 15:00 幼児から小学生向けおはなし会
- 日曜日: 14:30 ~ 15:00 幼児向けおはなし会
 - 15:15 ~ 15:45 小学生向けおはなし会

- ・場所 「こども図書館 おはなしの家」



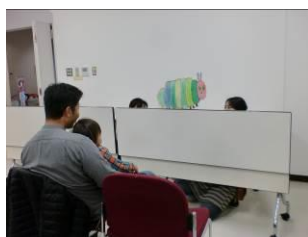
おはなし会や読み聞かせだけでなく、しおりづくり、ビブリオバトル、なりきり絵本キャラなどの催し、POPの掲示があります。

- ・日時 令和元年11月30日(土) 10:30 ~ 16:00
- ・場所 福岡市男女共同参画推進センター アミカス

(福岡市南区高宮3-3-1 西鉄天神大牟田線高宮駅西口すぐ)

※福岡市子ども読書フォーラムは、子どもが本に親しみ、自ら進んで読書できるような環境づくりを推進する一環として、平成17年度から毎年実施されています。

《昨年度の様子》



(福岡市立小学校図書館教育研究委員会のペープサート体験)



(福岡市立中学校の読み聞かせ)



(ブックスタートボランティアの紙芝居)



(学校図書館よみかせボランティアネットワークの絵本の展示)

☆ あとがき

秋の読書週間では、各学校で読書活動の推進を図られることと思います。中学校では、図書委員会だけが活動するのではなく、放送委員会に本の紹介を、美術部にポスターを作成してもらうなど、他の委員会や部活動と協力して取組んでみてはどうでしょうか。

たかし氏の創作絵本「しらぬい」を出版する時は、まだ創作絵本の出版に出版社が相当慎重な時期でしたが、「しらぬい」の絵を生かすために、絵本自体の判型を大きくするよりほかはないということで、大型創作絵本第1号として岩崎書店から出版されたそうです。改めて、絵本に描かれる絵の重要性が分かる話です。

発 行： 福岡市教育委員会 生涯学習課

電 話： 0 9 2 - 7 1 1 - 4 6 5 5 F A X： 0 9 2 - 7 3 3 - 5 5 3 8

図書館員のひみつの本棚 第162回

今月はみんなで遊べる科学絵本です。

『あーと いてよ あー』

おのでら えつこ／ぶん ほりかわ りまこ／え 福音館書店 2009年
800円（税抜）

<お勧め年齢>

乳幼児☆☆☆ 低学年☆☆☆ 中学年☆☆ 高学年☆ 中学生—
高校— 一般---

（☆が多い年齢の子どもにお勧めです。）

<本の紹介>

上を向いて「あー」。胸をたたきながら「あー。」嬉しい時の「あー」。のびたりちぢんだりねたりする「あー」。

みんなでいろんな「あー」を楽しむ絵本です。

声の不思議と、面白さを実感できます。

<子どもに手渡す時のポイント>

子どもとやり取りをしながら楽しんでほしい絵本です。

やり取りに気がいってしまうかもしれませんが、文章はいろいろ手を加えずにそのまま読むほうが、楽しさが子どもたちに伝わると思います。絵もしっかりと見せてください。

先日低学年の児童に読んだらとても楽しんでくれました。おはなし会のプログラムに加えてもらおうと、読む絵本の幅が広がって、楽しさが増すと思います。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。

